

日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌 執筆要項
Journal of Japanese Society of Wound, Ostomy, and Continence Management

- 1) 論文タイトル、キーワード、図表のデータには、著者情報（氏名、イニシャル、所属など）が入らないように記載する。また提出するファイルのソフト（WordやExcelなど）は、プロパティのファイルの概要の著者情報（作成者、管理者、会社名など）を削除する。
【例】論文タイトル「東京オストミー病院3年間の創傷管理体制」の場合は、「当院3年間の創傷管理体制」にする。
- 2) サブタイトルを付ける場合は、タイトルの後にコロン「:」を付け、その後にサブタイトルを記載する。
- 3) 症例報告のタイトルの症例数や事例数はアラビア数字を用いる。
【例】〇〇の1例、〇〇の3事例、〇〇の1経験など。
- 4) 英文タイトルは、最初の1文字のみ大文字とする。
- 5) 本文はMicrosoft Wordで作成し、本文には行番号を連続番号でページごとに振り直し、下中央にページ番号を入れる。和文論文は所定様式として1ページ24字×30行とし、A4サイズで周囲2.5cmの余白を残す。
英文論文はダブルスペースで作成し、A4サイズで周囲2.5cmの余白を残す。言語綴は行末で切れないようにその語句の頭で改行する。
- 6) 本文の1ページ目には、論文の種類、論文タイトル、著者名、所属、キーワード、要旨（原著のみ記載）の順に和文、英文で明記する。
※英文論文の場合も、論文の種類、論文タイトル、著者名、所属、キーワード、要旨（原著のみ記載）の順に英文、和文で明記する。
- 7) 要旨は和文（600字以内）、英文（250語以内）とし、目的、方法、結果、考察の順で記述する。
- 8) キーワードは和文・英文ともに5個以内とする。また、英文のキーワードは全て小文字で記載する。
- 9) 著者の所属の表記は、所属が1カ所の場合は無記号とし、所属が複数の場合は、筆頭著者の所属を1)とし、著者名の右肩およびその所属の右肩に番号をつける。
英語氏名には職名・資格名（RN、WOCN、MDなど）を記載する。
- 10) 和文論文は原則として常用漢字、ひらがな、現代かなづかいを用い、外国語の固有名詞（人名など）は原語を、一般に日本語化された外国語はカタカナを用いる。
英文論文は英語を母国語とする者が読んで、正確、明確に理解できるものでなければならない。英語を母国語とする者の校閲を受けることが望ましい。
- 11) 度量衡は国際単位など汎用されているものを使用する。
- 12) 論文中に機器、医薬品、創傷被覆材などの商品名を記載する場合は、本文中の初出時のみ一般名（商品名：企業名 ※正式名称を記載）と記載し、以降は一般名で記載する。なお、論文タイトル、要旨、キーワードには商品名は使用しない。
- 13) 論文の項目の区分は原則として下記の例に従う。
 - ・大項目：無記号で上を1行空け、行の中央に記す。はじめに、方法、結果、考察、まとめ、文献などが相当する。
 - ・小項目：1. 2. として上下を空けずに行の第1字目に記す。
続いて1)、2)として行の第1字目に記す。
- 14) 図および表にはそれぞれに通し番号をつける。和文論文の場合は、図表のタイトル、説明は日本語に統一する。
- 15) 図表は2ファイルまで投稿可能である。図表ファイルはMicrosoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、JPEG、Tiff、ないしPDF形式とし、300dpi以上の解像度などで作成する。また挿入場所を本文欄外に記載する。
- 16) 写真を掲載する場合は必要に応じて目隠しを入れるなどプライバシーの保護に十分注意する。
- 17) 謝辞がある場合は本文の末尾に入れる。
- 18) 文献は引用順に配列し、本文の末尾に一括記載する。本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に1)、1)3)6)、1)-5)のように記す。参考文献は記載しない。著者が3名以上の場合は、はじめの3名までを書き、あとは「他」または「et al」を付け加える。
- 19) 雑誌名は、引用雑誌の公式略称を使用する。公式略称が不明の場合は、医学中央雑誌刊行会の医学中央雑誌収録目録略名表 (<https://www.jamas.or.jp/shusaishi/search/>) および Index Medicus (<http://www2.bg.am.poznan.pl/czasopisma/medicus.php?lang=eng>) の記載に準ずること。
インターネット上の情報を文献として引用する場合は、信頼のおける主に公的機関からの情報に限り、

最小限の引用にとどめる。

20) 文献の記載様式は下記の要領に従う。

・雑誌の場合

著者名. 論文の表題. 略雑誌名 巻：初頁-終頁, 発行年（西暦）.

【例】1) 酒井透江, 松原康美, 片岡ひとみ, 他. ストーマ保有者のストーマ用品費用の自己負担額と負担感に関する要因の分析. 日創傷オストミー失禁管理会誌 25：566-575, 2021.

2) Langemo DK, Melland H, Hanson D, et al. The lived experience of having a pressure ulcer: a qualitative analysis. *Adv Skin Wound Care* 13: 225-235, 2000.

・単行本、分担執筆の場合

著者名. 題名. 書名（編集者）, 頁, 出版社, 発行地, 発行年（西暦）.

【例】1) 真田弘美. 褥瘡の予防. 褥瘡の予防・治療ガイドライン（厚生省老人保健福祉局老人保健課 監修, 宮地良樹 編）, 8-36, 照林社, 東京, 1998.

2) Harding CR. Effect of moisturizing factor and lactic acid isomers on skin function. *Dry Skin and Moisturizers: Chemistry and Function* (Loden M eds), 229-241, CRC Press, New York, 2000.

・訳本の場合

著者名, 訳者名. 題名. 書名, 頁, 出版社, 発行地, 発行年（西暦）.

【例】Nightingale F, 小玉香津子, 尾田葉子 訳. V 変化のあること. 看護覚え書き（新装版） 本当の看護とそうでない看護, 64-65, 日本看護協会出版会, 東京, 2019.

・WEB の場合

web site の発信元.（記事の掲載された西暦 / 月）. 記事が載っている大題名：記事名. 検索年月日, [URL]

【例】1) U.S. Department of Health and Human Services. (2000/11). Healthy people 2010: Understanding and improving health. 2001/9/26, [http://www.health.gov/healthypeople/]

2) 厚生労働省. (2019/12). 令和2年度診療報酬改定について：令和2年度診療報酬改定の基本方針. 2022/4/10, [https://www.

mhlw.go.jp/content/12404000/000592925.pdf]

・オンラインで公表され巻号が与えられていない文献で Digital Object Identifier (DOI) が付与されている場合は DOI を明示する。

著者名. 論文の表題. 略雑誌名, DOI, 発行年(西暦).

【例】山田太郎. 在宅の褥瘡予防について. 在宅会誌, doi.org/10.32000/jpnwocm.25.3_506, 2012.

21) 利益相反がある場合は本文の文献の前に以下のように記載すること。

記載例

利益相反 あり

本研究は〇〇の資金提供を受けた。

〇〇の検討にあたっては、〇〇からの測定装置の提供を受けた。